

事業所名

地域支援センターまなびや

支援プログラム

作成日

令和6 年

8 月

1 日

(別添資料1)

法人（事業所）理念		「こども」「家庭」「地域」のためにできることを取り組む。					
支援方針		こどもたちの可能性を最大限にひきだしながら、「できた」の喜びをともに感じながら「たのしく」学び日頃できない体験や経験をたくさん積み重ねることで、なんでも挑戦でき、なんでも積極的に取り組める気持ちの強さを育てる支援をしていくこと					
営業時間		8 時	30 分から	17 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	①衣類の着脱の技能習得、援助。 ②トイレトレーニングの促し、見守り、ふき取りの援助。 ③食事の援助として、咀嚼の促し、姿勢保持の誘導援助、フォーク、スプーン、お箸の使い方の援助 ④入室時の検温と利用時の健康チェック ⑤食育の為の調理活動。それに付随するお話や絵本の読み聞かせ ⑥精神的健康に関して必要に応じて保護者や関係機関との情報交換					
	運動・感覚	①午前、午後の集会での姿勢保持改善に対する助言 ②視覚、聴覚への働きかけ（エプロンシアター・絵本の読み聞かせ・季節の歌の歌唱） ③粗大活動・バランスを養う遊び（サーキットブロック・トランポリン・ボールを使った運動遊び）ボールを蹴る、投げる、入れる、当てる等の基本的な動作を取り入れた運動遊び ④リトミックやリズム体操（曲に合わせて踊る・筋トレの要素を含む体操） ⑤外での自由遊び（固定遊具、ボール、砂場、ごっこ遊び） ⑥微細活動・指先遊びセットを使った訓練作業。折り紙、お絵描き、塗り絵、なぞり書き、シール貼り、季節の制作物（ハサミ、のり、絵具、スタンプ、色々な素材を丸めたり破ったり等）等の手指を使った繊細な作業遊びの提供と援助					
	認知・行動	①毎朝、日付、曜日を声にだして伝える練習。色、食べ物、カード、動物カードを使い、復唱をする認知作業。 ②ペットボトルキャップや洗濯ばさみ等身近な物を使った数の習得 ③朝の季節の歌の合唱と毎日の映像を使ったリズム体操で視覚、聴覚情報からの全身運動 ④宝探しゲームやカップゲームで注意力・集中力向上遊び					
	言語コミュニケーション	①色、数字、ひらがな、食べ物、動物カードを使った知育、言語習得活動 ②日常の言語コミュニケーション時の復習訓練の援助 ③日常の言語コミュニケーションの中で習得と自発的な発語を促す様によく語り掛け、言葉をひきだす ④帰りの会の振り返り作業で個人の意見発表の場を設けて、みんなの前で発表ができるよう促している ⑤日常の中で手振り、身振りの伝達作業への理解と支援を行っている					
	人間関係社会性	①呼びかけに対してしっかりと向き合い信頼関係を築き、愛着行動に対して安定した関係を形成するように努めている ②一人でできるゲームからお友達と協力し合うゲームを通して一緒にすることで起きる「思い通りにならないこと」を経験し、精神的発育を促して社会性を身に着けていく。（大型オセロゲーム・ボール運びリレー・グループで行う共同型ゲーム） ③自分がしたい事と、お友達がしたいことで違いがあった時、また、保育士が準備をしたものとの相違に対する心の整理の仕方への助言をしている。（読み聞かせの絵本をどれにするのか、エプロンシアターと大型絵本どちらがいいのか、宝探しとひらがなカルタ等）選択肢があった時、思い通りにならない状況の提示と気持ちや情動の調整ができるように支援している ④粗大活動時に、集団に参加するための促し、励まし等の支援を行っている					
家族支援		家庭訪問等を含め、家族の困り感がないか常に連絡や相談を受けながら困っている時は何か情報提供を行ったり、他の関係機関等と相談し、できることはないか検討を行っている			移行支援	他の関係機関と連絡や相談をとりながら、具体的に今後の支援がどのようにできるのか情報共有を図りながら地域における活動などにも積極的に参加、交流を図っている	
地域支援・地域連携		保育所等訪問等を行ったり、他事業所との情報共有を行いながら、地域で困っている家庭や、保護等を必要としている家庭への積極的なアプローチを行っている			職員の質の向上	内部、外部研修や法人全体での研修等に積極的に参加しながら他の事業所職員や県、市との連携を図り、ケース会議等も参加し職員の質の向上に取り組んでいる	
主な行事等		春の遠足・七夕・海水浴・川遊び・プール遊び・季節の調理活動（夏野菜カレー クッキー・ケーキ作り等）・夏祭り・運動会・クリスマス会・節分 ・外出活動（水族館・科学館等） 秋の遠足・収穫祭（さつまいも、じゃがいも、らっかせい等を収穫）					